

副市長（北田愼一君）

小川議員の公有財産の保有総量についての御質問にお答えいたします。

本市の公共施設数は、平成 24 年度当初で 802 施設設置されており、合併により機能が重複した公共施設が多く、県内他市と比較しても非常に多い状況にあります。

また、全ての公共施設をこのまま維持管理していくことは、将来的に膨大な維持管理費や更新費用が見込まれます。

このことから平成 22 年 3 月に策定された第二次白山市行財政改革大綱に基づき、見直し対象とした 264 施設について、議員御質問の公有財産管理台帳のデータをもとに必要性や施設性能を数値評価し、さらにこれまでの外部委員会等での検討経緯などに基づく補正を加えて総合的に評価し、公共施設の集約化等による適正な配置と効率的な管理運営を進めるものであります。

公有財産の保有総量につきましては、決算書の財産に関する調書で、年度末の土地、建物の面積をお示ししておりますが、これも公有財産管理台帳のデータにより作成しているものであります。直近の平成 23 年度末の公有財産の保有総量は、土地が約 1,084 万 4,000 平方メートルであり、建物が延べ面積で約 60 万 6,000 平方メートルであります。

土地については、山林と保安林が合わせて約 716 万平方メートルと全体の約 66%を占めております。山林と保安林以外では公園が一番大きく、約 90 万 2,000 平方メートル、次に学校教育施設で約 62 万 8,000 平方メートル、体育・レクリエーション施設が約 47 万 6,000 平方メートルなどとなっております。

一方、建物では、延べ面積で学校教育施設が一番大きく、約 18 万 5,000 平方メートル、次に体育・レクリエーション施設で約 7 万 2,000 平方メートル、社会教育文化施設が約 6 万 3,000 平方メートルなどとなっております。

今後、公共施設の見直し方針に基づく見直しや売却可能資産の処分などを進めていくことにより、これらの保有総量につきましても、順次減少していくものと考えておりますので御理解を賜りたいと存じます。

以上であります。